

住吉地区に関する書籍紹介

『住吉のなりたちとあゆみ』

編集：住吉部落歴史研究会編 出版年：1986
出版社：トライプランP
大きさ：四六判（127×188）・107頁
頒価： 500円



この本では、住吉地区の起源や、江戸時代、明治以後から第2次大戦までの住吉地区のあゆみを、その時々の諸事件や融和運動のうごきを軸として、順を追って記述しています。これらは、住吉地区の被差別部落としての歴史であると同時に、差別に抵抗して闘いながら、たくましく生きてきた、住吉地区の人びとの足跡でもあります。ここでは、人間を大切に、生活のために闘い続けた力強い人びとの歴史が描かれています。なお、聞き取りを軸にした地区住民のいきいきとした暮らしぶりについては『住吉のくらしと仕事』で再現されています。

『住吉のくらしと仕事』

編集：住吉部落歴史研究会編 出版年：1988
出版社：ニッコーエディタ株式会社
大きさ：四六判（127×188）・276頁
頒価： 1000円



この本では、『住吉のなりたちとあゆみ』では描けなかった欠落部分を補完する、戦前の住吉地区での生活の記録を、お年寄りの語りから描き出しました。とりわけ、差別のなかでたくましく生きてきた村のお年寄りの姿から、戦前の村の様子やくらしを詳細に再現し、それを次世代へと伝えることが本書の目的です。お年寄りから語られる生いたちの断片からは、差別への抵抗や厳しい生活状況、その一方で、娯楽や楽しい集いなど生活上の工夫がうかがえます。本書は『住吉のなりたちとあゆみ』と合わせて読まれることをおすすめします。

住吉地区に関する書籍紹介

『生きていくということは：大川恵美子講演集』（第4版）

著者：大川恵美子著 出版年：1988
出版社：住吉同和教育推進協議会
大きさ：A5判（148×210）・107頁
頒価：500円



この本は、1950年代半ばから部落解放運動に参加し、のちの住吉支部や全国の部落解放運動と「同和」教育をけん引してきた故大川恵美子さんの生い立ちにもとづく講演集です。そこでは大川さんが日常の生活で部落差別に苦しめられたが故に身につけることになった「戦闘性」、「笑い」、「知恵」、「大衆性」がいきいきと再現されています。

『忘れてはならない自主解放：財団法人住吉隣保館設立50年、故住田利雄さん誕生100年を踏まえて』

編集：財団法人住吉隣保館設立50年、故住田利雄さん誕生100年記念事業実行委員会編 出版年：2011
出版社：モリモト印刷株式会社
大きさ：A4判（210×297）・128頁
頒価：1000円



この冊子は、3部で構成されており、第1部では財団法人住吉隣保館設立50年と故住田利雄さん生誕100年にあたっての軌跡がまとめられています。第2部では財団法人住吉隣保館50年の歩みが、第3部では故住田利雄さん生誕100年に寄せてをテーマにしたシンポジウムの報告が収録されています。故住田利雄さんは、1911年に住吉の地で生を受け、住吉地区の部落解放運動を語るうえで、大きな役割を果たした人物です。なかでも、財団法人住吉隣保館設立に献身的な貢献をしました。

書籍に関する問い合わせ先：公益財団法人住吉隣保事業推進協会事務局
電話/ファックス06-6674-3732/06-6674-7201

住吉地区に関する書籍紹介

『「下駄直し」の記』

編集：住田利雄著 出版年：1986

出版社：解放出版社

大きさ：四六判（127×188）・462頁

頒価：2500円



この本は、『忘れてはならない自主解放』でもとりあがられている故住田利雄さんが、その人生、とりわけ部落差別に向き合い、それと対峙してきた事象を純情かつ誠実に振り返り、正確に記したものです。そこでは住田さんの少年時代の思い出を綴る短編小説「下駄直し屋」、裁判関係、警察関係の文章に基づき米騒動と部落の関係を分析した部落史研究者の誤りを指摘した「米騒動の真相—住吉部落の動き」、部落差別問題の核心をやさしく具体的に記した「拝啓行政担当者殿」など1958年から1978年までの作品が計28編収録されています。

書籍に関する問い合わせ先：公益財団法人住吉隣保事業推進協会事務局
電話/ファックス06-6674-3732/06-6674-7201